

南のひと 02

写真・文=水野暁子

八重山で共に暮らす島人を撮影したシリーズ。暮らしの中から見つめる被写体に共感と敬意を込めて撮影している。



初めて実奈さんを撮影したのは、彼女が中学校を卒業し、竹富島を離れて石垣島の高校へ通う事が決まった15歳の春だった。風になびく夏の制服が日に焼けた実奈さんにとても良く似合っていた。

昨年の春、本土の学校へ進学が決まり八重山から旅立って行く18歳の実奈さんを再び撮影した。「本土に行くの楽しみだね」と言うと、「楽しみなのと、少し不安なのと両方ある」と足で砂をいじりながら話してくれた。

高校生活の事や、家族の事などを笑顔で話す姿は、以前とちっともかわっていなかった。言葉が途切れるほんの少しの合間に見せる表情と仕草から、高校生活3年間で色々な経験をしたであろう私の知らない実奈さんが垣間見えた。

あれから1年と数ヶ月が経ち、先月娘が通う学校に実奈さんが教育実習生として通ってきていた。「久しぶり」と声をかけると一年前の少し不安げな彼女は、もうそこにはいなかった。

「母校での教育実習はどうですか？」と聞くと、満面の笑みと真っ直ぐな眼差しで「楽しいです！」と答えたのが印象的だった。

水野暁子 みずのあきこ

1973年千葉県に生まれる。1986年に家族とアメリカへ渡る。1996年 School of Visual Arts (New York) を卒業。1999年に竹富島に移住。現在子育てをしながら撮影活動中。

●島人へのインタビューをまとめて紹介しているYouTubeチャンネル「八重山ライブラリー」も。